

発見! おごおり遺産

No.26 文化遺産を守る市民の活動

今回は、まつりから少し離れて、市民の活動がテーマです。さまざまな文化遺産の保存と普及のため、どんな団体がどのような活動をしているのでしょうか。



市内の文化財を守る活動



完成した「小郡はじまりの物語」



NPO主催の史跡巡りハイキング

小 郡市の豊かな歴史・文化を多くの人に伝える活動は、これまで

市や郷土史研究会、史跡案内ボランティアなどが担ってきました。そして近年、それらに加え、新しい団体の取組が見られるようになりました。

認定NPO法人文化財保存工学研究室（小郡市の歴史と文化を守る会）は、国指定史跡小郡官衙遺跡や市指定建造物旧松崎旅籠油屋など、市内の各種文化財の管理とともに、さまざまな普及活動を行っています。内容は、市民向け講座の開催や、各種文化財への見学者の案内、史跡巡りハイキングの主催などです。そして、今年度からは宿場町松崎を自分たちの言葉で案内する「松崎宿ふるさと案内人」の養成が始まります（主催は伝統文化実行委員会）。

一方、小郡の豊かな歴史と文化を伝える活動を行っている「おごおりを語りつぐ仲間たち」は、市や小郡ロータリークラブの助成を受け、小郡町の成立と発展の歴史を物語にした児童向けの本「小郡はじまりの物語」を作成しました。

子どもたちに、知られざる小郡のは

じまりのエピソードを伝えるもので、ふるさとを誇りに思う気持ちや郷土愛を育もうと企画されたものです。NHK放送の「ファミリーヒストリー」で紹介された田中家にまつわる内容を中心につづられた作品で、今年度の市内全ての小学6年生に、本が配布されます。また、その子どもたちや、一般の人にも手に取ってもらえるよう準備しているとのこと。

そして、本の内容を幅広く皆さんに伝えるためのイベントも検討されています。今後の展開にも注目です。



▲「小郡はじまりの物語」冒頭

多くの方がさまざまな形で、郷土の歴史・文化の保存と普及に取り組む小郡市。その思いは、きっと子どもたちを受け継がれることでしょう。

問合せ先 文化財課 ☎75・7555

おごおり遺産とは?》》近年の市内調査で「再発見」した文化遺産=市民のたからのこと